

(有)静岡健康企画 ことぶき薬局 TEL055(977)6024 たまち薬局 TEL054(251)1678
ひまわり薬局 TEL053(463)4312 みかん薬局 TEL053(584)2230 いちご薬局 TEL055(946)6430

今回はヨウ化カリウム丸のお話です。

ヨウ素とは

ヨウ素は、人間の体に必要なミネラルの一つで、海草類（昆布など）に多く含まれています。

人が摂取したヨウ素はそのほとんどが甲状腺に集められます。

甲状腺は人の喉の下にある臓器で、食べ物などで摂取したヨウ素から、人の成長に必要な甲状腺ホルモンを作り、血液中に分泌します。



放射性ヨウ素とは

原子力発電所で事故が起きた場合、様々な放射性物質が大気中に放出されます。

中でも問題とされる放射性物質の1つが放射性ヨウ素です。放射性ヨウ素とは、放射能をもつヨウ素 131 のことです。

天然のヨウ素は全て安定なヨウ素 127 で、放射性のヨウ素は存在しません。

ヨウ素は 184℃で気体になるので原発事故の火災で大量の放射性ヨウ素が放出されます。

放射性ヨウ素による甲状腺障害

呼吸や食事などから人の体に取り込まれた放射性ヨウ素の殆どが甲状腺に集まります。そのため、甲状腺が集中的に被爆を受けます。

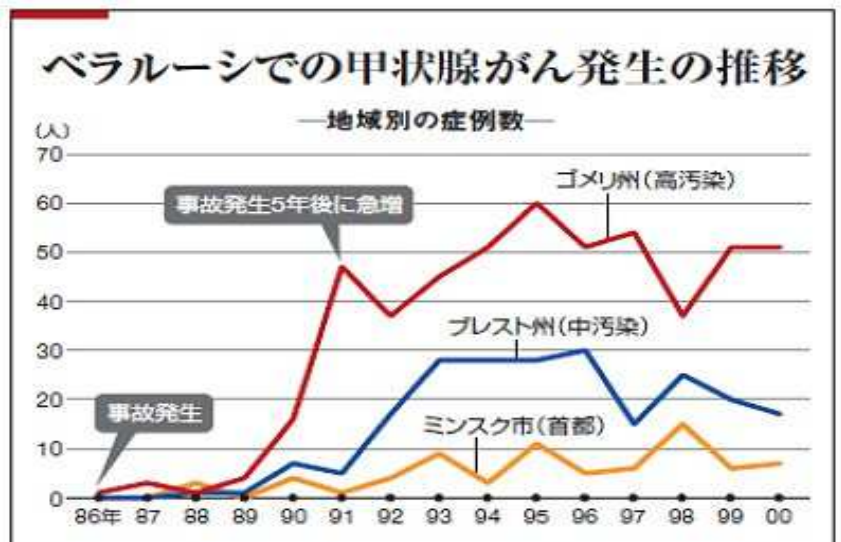
放射性ヨウ素の半減期（半分の量になる期間）は8日と短く、事故後放出された放射性ヨウ素は、半年位するとほとんど消滅するといわれています。

しかし、被爆して遺伝子についての傷が残ると甲状腺がんを引き起こします。

1986年4月26日、チェルノブイリ原発事故がおきました。

この事故では避難が適切にされず、住民は事故直後の呼吸と、汚染された牧草を食べた牛から搾乳された牛乳を飲み続けたことなどから放射性ヨウ素の被曝を受けました。

事故の4-5年後から甲状腺がんの発生が急増しました。これにより、放射性ヨウ素被爆と甲状腺がんとの因果関係が明らかになりました。



2011年、日本でも、福島原発事故が起きてしまいました。現在福島県では当時18歳以下だった子供の甲状腺検査を無償で行っています。今後も甲状腺障害の増加が危惧されています。

ヨウ化カリウム丸とは

ヨウ化カリウム丸は安定ヨウ素を補給する医薬品です。

被爆前後に服用すると、安定ヨウ素で甲状腺が満たされ、その後体に取り込まれた放射性ヨウ素が甲状腺に取り込まれるのを防ぎます。

放射線被爆による甲状腺被害防止に有効です。



原発事故による被害は放射線ヨウ素によるものだけではありませんが、放射線ヨウ素による甲状腺がんは因果関係が明らかであり、ヨウ化カリウム丸による予防が可能です。

ヨウ化カリウム丸が必要な年齢

放射性ヨウ素による発がんリスクが最も高い年齢は、体の成長が早い胎児や乳幼児です。そのため乳幼児と妊婦は特に予防が重要です。

また、子供の方が大人より発がんリスクが高いため優先して投与される必要があります。

40歳以上の方は、以前は「ヨウ化カリウム丸投与で発がんリスクは変わらない」といわれていましたが、近年の研究でリスクの増大の可能性が指摘され、原子力規制委員会は40歳以上の方も服用するように対象を拡大しました。

ヨウ化カリウム丸を飲むタイミング

被爆の危険があるときに直ちに服用します。

「被爆前 24 時間以内」もしくは「被爆直後」に飲むことが最も効果的です。放射性ヨウ素の甲状腺への集積の 90%以上を抑制します。

服用が早すぎても遅すぎても、効果がとても低くなってしまいます。

1度服用したら何度も服用せず避難を優先！

服用したら何度も服用せず避難してください。

ヨウ化カリウム丸はだいたい 1 日で体外に排泄されると言われています。

どうしても避難できない状況下では、屋外に出ず、できるだけ外気を遮断できる場所にいた方が被爆量を抑えることができます。汚染された飲食物の摂取は避けて下さい。

ヨウ化カリウム丸入手方法

ヨウ化カリウム丸は各自治体が備蓄しており、必要時配布することになっています。ただし実際の備蓄数は自治体によって異なり、緊急時すぐに住民に配布されるのか不安があります。

ヨウ化カリウム丸の効果は被爆直前直後の服用が最も効果が高いため、必要時すぐに服用できるように、個人で備蓄しておくことより安心です。

静岡健康企画各薬局では10錠500円でヨウ化カリウム丸を販売しています。薬局に直接いらしていただき、薬剤師が必要な情報をお聞きした上で、使用方法を説明し、販売させていただきます。郵送での販売などは、できません。

静岡県には浜岡原発があります。もし事故がおこれば被害は近隣だけでは済まされません。健康を守る医療に携わる身として、静岡健康企画は浜岡原発再稼働に断固反対します。